

ある日の育児日記から

(89)

佐藤 和代



久しぶりに有が熱を出しました。熱だけではなくて、じんましんも出るし腹痛もあるし、といふかなりひどい症状。それでも昼のうちは比較的元気だったのですが、夜になったら「かゆいよー、おなか痛いよー」と騒ぎ始めました。「大丈夫、お医者さんにも行ったし、薬も飲んだから、すぐよくなるよ」となだめるのですが、だんだん声は大きくなるばかり。しまいには「病院行くー、病院連れてってー!」と泣き叫ぶありさま。

ついに敬(お父さんです)が「救急外来に連れていこうか」と言い出しました。「ひよっとして

腸閉塞とか盲腸とか:」
 「そんなことないって。
 有はぐったりしてないで
 しょ。こんなに元気に痛
 がってるんだから、大丈夫」。私だっってちょっと
 不安だけど、有を見ていると何だかアニメの登場
 人物がよくやる痛がりかたみたい:。
 そのうち有はスースー寝息をたてはじめまし
 た。翌朝にはけろっとしている有を見て、敬は
 「このやろー、やっぱりとんと演技だったんだ
 な!」とぶつぶつ。



イトコのこうたくんは
 たいがい2人のアイドル。

小さい頃は、病気をする
 たび「早くどこが痛いかな
 えるようになる」といいの
 に」と思ったけど、言葉が
 達者になったらこれだ。ハ
 ラハラすることに変わり
 はないのです。